

全国商工会議所 観光振興大会2026 in 北海道



開催報告書

大会テーマ

有機観光新産業 ～全ての事業活動×観光＝新産業創造～

2026 6/2_火・3_水・4_木

道内
4会場
で開催

旭川

釧路

札幌

登別

主催：日本商工会議所・(一社)北海道商工会議所連合会
後援：経済産業省・中小企業庁・観光庁・日本政府観光局(JNTO)・(公社)日本観光振興協会・
北海道・札幌市・旭川市・釧路市・登別市・(公社)北海道観光機構

大会概要	2
キーノート・スピーチ	6
分科会・交流会	
旭川会場	7
釧路会場	9
札幌会場	11
登別会場	13
登別会場 特別イベント『鬼花火』	17
全体会議	18-19
オープニングアトラクション・記念講演	
旭川会場	20
釧路会場	21
札幌会場	22
登別会場	23
物産展、エキスカーション	
旭川会場	24
釧路会場	25
札幌会場	26
登別会場	27
その他	28-31
広告展開	32-33
掲載記事	34-36
開催までの軌跡	37

名 称

全国商工会議所観光振興大会2026 in 北海道

大会テーマ

有機観光新産業～全ての事業活動×観光＝新産業創造～

開催期間

令和8年6月2日(火)～4日(木)

開催場所

旭川	大会	アートホテル旭川
	交流会	
釧路	大会	釧路市生涯学習センター(まなぼつと幣舞)
	交流会	KKSコンベンションセンター(釧路市観光国際交流センター)
札幌	大会	札幌パークホテル
	交流会	
登別	大会	日本工学院北海道専門学校
	交流会	第一滝本館、登別グランドホテル、登別石水亭

参加人数

1,288名(214商工会議所・連合会)

旭川：230名(47商工会議所)

釧路：246名(56商工会議所)

札幌：602名(102商工会議所)

登別：210名(44商工会議所・連合会)

※複数会場参加を含む

主催

日本商工会議所、(一社)北海道商工会議所連合会

後援

経済産業省、中小企業庁、観光庁、日本政府観光局(JNTO)、
(公社)日本観光振興協会、北海道、札幌市、旭川市、釧路市、
登別市、(公社)北海道観光機構



【旭川会場】



【釧路会場】



【札幌会場】



【登別会場】

協 賛 ※50音順

アートホテル旭川	(株)岸本組	椎野雅之税理士事務所
(株)アイキ産業	(株)北一ホールディングス	士別商工会議所
(株)アインホールディングス	北見信用金庫	嶋産業(株)
葵建設(株)	北見通運(株)	(株)島田工業
赤平商工会議所	(株)北見ハツカ通商	(株)寿浅
アクサ生命(株)	(株)きのとや	(株)商工組合中央金庫
旭イノボックス(株)	協立海上運輸(株)	昭和交通(株)
旭川信用金庫	(株)草別組	昭和マテリアル(株)
(株)朝日新聞社	釧路貨物自動車(株)	(株)食創
(株)旭ダンケ	釧路市建設事業協会	白崎建設(株)
芦別商工会議所	釧路市水産加工業協同組合	新谷建設(株)
東工業(株)	釧路信用金庫	砂川商工会議所
網走商工会議所	釧路信用組合	(有)清野クラフト
阿部建設(株)	(株)釧路製作所	釧石工業(株)
(株)阿部新聞店	釧路センチュリーキャッスルホテル	(株)セントラルビルサービス
荒井建設(株)	倶知安商工会議所	全日本空輸(株)
(有)石垣サービス	工藤建設(株)	全日本空輸(株)札幌支店
石狩商工会議所	(株)熊谷組	空知交通(株)
(株)イバヤシ	栗山商工会議所	空知商工信用組合
岩倉建設(株)	(株)ケイ・トゥー・ワン	空知バッグ(株)
岩倉商事(株)	(株)光生舎	損害保険ジャパン(株)
岩田地崎建設(株)	興和工業(株)	(株)第一滝本館
(株)いわない高原ホテル	五稜郭タワー(株)	第一電設(株)
上田建設工業(株)	齊藤建設(株)	ダイコクグループ
歌志内商工会議所	坂野建設(株)	大地みらい信用金庫釧路支店
エイチ・イー・エス推進機構	(株)サクマ	大同生命(株)
NCカード(株)	札幌商工会議所	太平洋興発(株)釧路支店
遠軽信用金庫	(株)札幌振興公社	(株)太平洋製作所
小樽倉庫(株)	札幌テレビ放送(株)	タカオ工業(株)
帯広商工会議所	(株)佐藤建設	滝川商工会議所
(株)カネコメ高岡商店	(株)佐渡自動車整備工場	税理士法人 TACS
上砂川商工会議所	(株)サン・ガーデン	(株)玉川組
加森観光(株)	三協建設(株)	(株)樽石
(株)軽米組	(株)サン研ライフサービス	千歳建設(株)
川田工業(株)	三星運輸(株)	(株)中央製作所

協 賛 ※50音順

中央防災システム(株)
(株)忠和商事
(株)土屋ホーム不動産
鶴雅リゾート(株)
テツヤ(株)
(株)テレビ北海道
東京海上日動火災保険(株)
(株)東光自動車整備工場
東部開発(株)
道路建設(株)
道路工業(株)
(株)トーショウビルサービス
十勝信用組合
(一社)苫小牧観光協会
苫小牧港開発(株)
苫小牧商工会議所
(株)苫小牧民報社
トヨタ自動車北海道(株)
(医)仁恵会 中野記念病院
名寄商工会議所
(株)南部電設工業
(株)錦堂
ニッカウヰスキー(株)北海道余市
蒸溜所
日経BP 総合研究所
日交ハイヤー(株)
日本航空(株)
日本航空(株)北海道支社
ニューオータニイン札幌
ネットヨタ北見(株)
根室印刷(株)
根室交通(株)
野口観光(株)登別石水亭
(株)登別グランドホテル
函館環境衛生(株)

(公財)パシフィック・ミュージック・
フェスティバル組織委員会
橋本電気工事(株)
ハヤサカ自動車工業(株)
(株)ビジネスガイド社
日高信用金庫
深川商工会議所
フルテック(株)
ベル食品(株)
(株)宝山堂中島薬局
北都交通(株)
(株)北洋銀行
(株)細道コンサルタント
北海中部物産(株)
北海道ガス(株)
(株)北海道銀行釧路支店
北海道高速道路建設促進期成会
北海道商工会議所女性会連合会
北海道商工会議所青年部連合会
北海道新幹線建設促進期成会
北海道地域航空推進協議会
北海道テレビ放送(株)
北海道電力(株)
北海道電力(株)釧路支社
北海道電力ネットワーク(株)
釧路支店
北海道文化放送(株)
北海道放送(株)
北海道旅客鉄道(株)釧路支社
北海道ワイン(株)
(有)北光興産
(株)ホテル黒部
(株)正岡商会
(株)町村農場
松浦建設(株)

マツダ電気(株)
(株)丸勝
(株)マルコー設備
丸什本間建設(株)
マルスイホールディングス(株)
(株)三ツ星レストランシステム
三ツ輪運輸(株)
(株)三ツ輪商会
(株)宮田建設
(株)看るの会
(株)村瀬鉄工所
村田施設工業(株)
室蘭商工会議所
紋別商工会議所
紋別プリンスホテル(株)
(株)ヤマサ
山田産業(株)
(株)山伏パコム
山本電工(株)
夕張商工会議所
(株)横山土建
YOSAKOIソーラン祭り
組織実行委員会
(学)立正学園
留辺蘂商工会議所
道の駅おんねゆ温泉
(株)渡辺組
渡辺建設工業(株)
稚内商工会議所

以上、199 社／団体
ご協力ありがとうございました

全体タイムテーブル

6月2日(火)	16:00	●キーノート・スピーチ（～16:30） ①北海道大会の挑戦～コロナの経験を踏まえて～ ②アドベンチャートラベルの推進と地域活性化	登別からオンライン 釧路からオンライン
	16:30	●分科会（～18:00） 旭川 アクティビティ×観光～通年型・滞在型観光を目指して～ 釧路 モビリティ×観光～地域DMOが取り組む観光DX～ 札幌 コンテンツ×観光～地域の魅力創造～ 登別 多様性×観光～先史文化、馬文化、外国人等との共生～	各会場で リアル開催
	18:30	●交流会 旭川・札幌（～20:00）	各会場で リアル開催
	19:00	●交流会 釧路・登別（～20:30）	各会場で リアル開催
		●物産展 旭川・釧路・登別（15:00～18:30）	各会場で リアル開催
6月3日(水)	8:40	●オープニングアトラクション（～9:00）	各会場で リアル開催
	9:00	●全体会議（～11:00） ①開会挨拶 ②歓迎挨拶 ③来賓挨拶 ④2025年度きらり輝き観光振興大賞 表彰式 総評・各賞の贈呈・事例発表 ⑤成果報告(4開催地) ⑥北海道アピール採択 ⑦次回開催地挨拶 ⑧閉会挨拶	札幌から オンライン
	11:00	●2027年国際園芸博覧会PR	札幌から オンライン
	11:15	●記念講演（～12:15）	各会場で リアル開催
	講演 終了後	●エキスカーション（半日コース・1泊2日コース）	各会場で リアル開催
		●物産展 旭川・釧路・登別（8:15～13:00）	各会場で リアル開催

はじめに、登別会場から道商連 食と観光振興委員長を務める登別 木村会頭が「北海道大会の挑戦～コロナの経験を踏まえて～」と題し、コロナ禍によって人の移動が制限され、交流が断たれ、地域経済が大きな打撃を受けた経験から、地域の自然・文化・産業・人の営みなど地域のあらゆる価値を束ね外と繋いでいく「観光の価値」を改めて見つめ直したこと。そして今後は「元に戻る」のではなくデジタル・交通・情報発信・人材等を結びつけ、さらには農林水産業、製造業、物流、IT、教育等のあらゆる分野と結びつく“総合産業”として、しっかり収益を上げ、次の世代が安心して働ける環境を整えていく、そうした新たな観光の姿を皆様と共に描いていきたい、と北海道大会への思いを語った。

続いて、(一社)日本アドベンチャーツーリズム協議会 Global Marketing Directorを務める鶴雅ホールディングス(株) 高田氏が「アドベンチャートラベルの推進と地域活性化」と題し、地域資源を新たな視点で再定義し、日本が持つ豊かな文化や産業などの強みを生かしながら世界へと発信していくことの重要性を提唱すると共に、地域固有の魅力を磨き上げることが持続的な地域活性化につながる、との考えを示した。

①「北海道大会の挑戦～コロナの経験を踏まえて～」

木村 義恭 氏

(一社)北海道商工会議所連合会 食と観光振興委員長
登別商工会議所 会頭



②「アドベンチャートラベルの推進と地域活性化」

高田 健右 氏

鶴雅ホールディングス(株) 経営企画部 経営企画グループディレクター
ATTAアンバサダー
(一社)日本アドベンチャーツーリズム協議会
Global Marketing Director



テーマ：アクティビティ×観光～通年型・滞在型観光を目指して～

旭川会場では、道北観光における「繁閑差の解消」に向けた取り組みとして「土別市のスポーツ合宿誘致」や「旭山動物園の行動展示」など、来訪者数・宿泊者数の増加に貢献している事例が紹介された。

佐藤氏からは、DMOの役割に加え、地域資源を活かした再生型観光の考え方や持続可能な地域づくりに向けた取り組みについて説明された。

渡辺氏からは、スポーツ合宿誘致による経済波及効果や交流人口の拡大事例を交えながら、人と人とのつながりが地域活性化の重要な要素であるとの考えが示された。

坂東氏からは、経営危機からV字回復を遂げた「行動展示」をはじめとする様々な取り組みの秘話を交えながら、動物本来の魅力や価値を伝え来園者に感動と共感を提供し続けることの重要性が示された。

地域資源の魅力を磨き上げ、地域ならではの価値を発信することが観光振興につながることで、また、商工会議所、行政、DMO等の関係機関が連携し、通年での誘客に取り組むことが重要であるとの認識が共有された。



ファシリテーター
(株)北海道新聞社
旭川支社長
山岸 勲 氏



パネリスト
(一社)大雪カムイミントラDMO
副理事長・旭川市副市長
佐藤 昌彦 氏



パネリスト
土別市長
渡辺 英次 氏



パネリスト
旭川市旭山動物園
統括園長
坂東 元 氏





歓迎挨拶
旭川商工会議所
副会頭
山下 裕久



来賓祝辞
旭川市長
今津 寛介 様



乾杯
滝川商工会議所
会頭
谷口 正樹



中締め
留萌商工会議所
会頭
大石 昌明



アトラクション【マジシャン ミスターゼロ、芸者ぼういず】



テーマ：モビリティ×観光～地域DMOが取り組む観光DX～

釧路会場では、広域に観光資源が点在する「ひがし北海道」の二次交通と地域間連携の重要性を共通課題に議論が行われた。

山崎氏からは、国際線誘致や空港を核とした地域連携の取り組みが紹介され、空港と地域が一体となった路線定着が重要であるとの認識が示された。

阿部氏からは、公共交通による周遊促進に向けた情報発信を進めるとともに、観光客データを生成AIで分析し、ペルソナ設定や効果的な情報発信につなげる観光DXの取り組みが紹介された。

植松氏からは、広域に点在する観光資源を「点」ではなく「線・面」でつなぐ観光モビリティの考え方や、空港を起点とした広域連携の取り組みが報告された。

佐々木氏からは、アドベンチャーツーリズムや地域資源を活用した高付加価値コンテンツの造成、DXを活用した人材育成や情報共有の取り組みが紹介された。

討論では、二次交通の整備と観光DXを組み合わせ、移動しやすく満足度の高い観光地づくりを進めることが、滞在時間や観光消費の拡大、地域経済の活性化につながるとの認識が共有された。

また、地域・行政・交通事業者・観光団体が連携し、広域的な視点で受入環境を整備する必要性についても意見が交わされた。
持続可能な「稼ぐ観光」の実現には、地域が連携し、観光客の利便性向上と地域資源の高付加価値化が重要であることを確認し、分科会を締めくくった。



ファシリテーター
㈱北海道新聞社
釧路支社長
三宅 康夫 氏



パネリスト
北海道エアポート(株)
代表取締役社長
山崎 雅生 氏



パネリスト
(一社)ひがし北海道自然美への道
DMO
事務局長
阿部 誠 氏



パネリスト
(一社)帯広観光
コンベンション協会
専務理事
植松 秀訓 氏



パネリスト
知床ねむろ観光連盟
事務局長
佐々木 亮介 氏





歓迎挨拶
釧路商工会議所
会頭
栗林 定正



来賓祝辞
釧路市長
鶴間 秀典 様



乾杯
北見商工会議所
会頭
舩川 誠



中締め
網走商工会議所
会頭
杉本 匡規



アトラクション
【北海道くしろ蝦夷太鼓保存会】



テーマ：コンテンツ×観光～地域の魅力創造～

札幌会場では、北海道を応援するキャラクター「雪ミク」とのコラボレーションによる誘客や、スイーツ・ワインなどの地域資源を活用した観光振興の取り組み事例が紹介された。

長沼氏からは、札幌スイーツコンペティションや旭川菓子博などの事例を交えながら、お菓子には人を惹きつける魅力があり、観光客の満足度向上だけでなく、新たな来訪のきっかけにもなり得るとの考えが示された。

阿部氏からは、同氏が代表理事を務めるNPO法人の地域資源を活用した取り組み事例をもとに、観光振興は新たな施設を整備することではなく、地域に既に存在する価値をつなぎ合わせることで、新たな価値を創出し、大きく育てていくことが重要であると説明された。

伊藤氏からは、「雪ミク」とのコラボレーションや「締めパフェMAP」の取り組みが紹介され、インターネットやデジタルコンテンツを活用することで地域の魅力を全国・世界へ発信でき、地方の可能性を広げる観光振興につながるとの考えが示された。

コンテンツと観光は親和性が高く、地域資源にストーリー性を持たせるなど付加価値を高めることで「旅の目的」となり得ること、また、地域の魅力を活かして稼ぐ観光を実現するためには、人材育成が重要であるとの認識が共有された。



ファシリテーター
(株)北海道新聞社
経済部長
十亀 敬介 氏



パネリスト
北海道コンフェクトグループ(株)
取締役会長
長沼 昭夫 氏



パネリスト
クリプトン・フューチャー・
メディア(株)
代表取締役
伊藤 博之 氏



パネリスト
NPO法人ワインクラスター北海道
代表理事
阿部 眞久 氏





歓迎挨拶
小樽商工会議所
会頭
中野 豊



来賓祝辞
北海道副知事
三橋 剛 様



乾杯
岩見沢商工会議所
会頭
松浦 淳一



中締め
江別商工会議所
会頭
町村 均



アトラクション
【北海道日本ハムファイターズオフィシャルチアチーム
ファイターズガール】



テーマ：多様性×観光～先史文化、馬文化、外国人等との共生～

登別会場では、サラブレッド、温泉、アイヌ文化、幕末歴史の舞台、縄文遺跡群など、多様で豊かな観光コンテンツを有する道南エリアの持続可能な観光地づくり・魅力づくりについて議論が展開された。

浅井氏からは、函館山ロープウェイのオーバーコンセントレーション(特定の場所や時間帯への観光客の過度な集中)の実態や分散化の取り組みが紹介された。オーバーコンセントレーションはコントロールできる経営課題であり、分散化への再設計が必要との考えが示された。

木田氏からは、馬と自然とふれあえるやすらぎの里「うらかわ優駿ビレッジAERU」と馬産地について紹介され、サラブレッドタクシーの整備により観光客を受け入れる牧場が増加していることや、インド人雇員の増加により、地域との共生が進んでいることが報告された。

阿部氏からは、登別温泉を中心に市民によるガイド・ツアー等を行う登別ゲートウェイセンターの取り組みが紹介され、地域資源の把握と発掘、関係者の連携が必要で、個別化・多様化する旅行者ニーズへの対応の重要性が示された。

地域資源の再認識・再評価を「稼ぐ力」の向上につなげ、人材確保や設備投資に結び付けることの重要性が共有された。また、住みやすい地域づくりと観光地の魅力向上は密接に関係しており、地域住民と観光客との交流機会の拡大が必要であるとの認識が示された。



ファシリテーター
(株)北海道新聞社
室蘭支社長
中井 理依氏



パネリスト
函館山ロープウェイ(株)
代表取締役社長
浅井 忠美氏



パネリスト
うらかわ優駿の里振興(株)
代表取締役副社長
木田 尚孝氏



パネリスト
(株)登別ゲートウェイセンター
代表取締役
阿部 敏昭氏





歓迎挨拶
登別商工会議所
会頭
木村 義恭



来賓祝辞
登別市長
小笠原 春一 様



乾杯
函館商工会議所
会頭
久保 俊幸



中締め
登別商工会議所
副会頭
斎藤 正史



アトラクション 【登別郷土芸能 熊舞】





歓迎挨拶
室蘭商工会議所
会頭
中田 孔幸



来賓祝辞
室蘭市長
青山 剛 様



乾杯
森商工会議所
会頭
佐藤 重人



中締め
室蘭商工会議所
副会頭
松永 英樹



アトラクション【和太鼓ZINKA】



室蘭焼き鳥の屋台



室蘭焼き鳥



室蘭産牡丹蝦
(ボタンエビ)



歓迎挨拶
伊達商工会議所
会頭
壽浅 雅俊



来賓祝辞
伊達市長
堀井 敬太 様



乾杯
苫小牧商工会議所
会頭
宮本 知治



中締め
浦河商工会議所
会頭
上田 正則



アトラクション 【伊達武者太鼓】



【松本商工会議所 次回開催地PR】



登別会場では、交流会終了後に登別地獄谷において特別に鬼花火を開催した。

鬼花火とは、登別地獄谷に棲(す)む湯の守り神「湯鬼神」が、人々の幸せを願い、厄を払うために舞を披露し、迫力ある手筒花火を打ち上げる登別ならではの伝統イベント。地域住民の手によって支えられており、その独自性と地域活性化への取り組みが高く評価され、「ふるさとイベント大賞・内閣総理大臣賞」も受賞している。



- オープニングアトラクション (各地にてリアル演奏・演舞)
- 開会挨拶 日本商工会議所 会頭 小林 健
- 歓迎挨拶 (一社)北海道商工会議所連合会 会頭 安田 光春
- 来賓挨拶 北海道知事 鈴木 直道 様



開会挨拶
日本商工会議所
会頭
小林 健



歓迎挨拶
北海道商工会議所連合会
会頭
安田 光春



来賓挨拶
北海道知事
鈴木 直道 様

- 2025年度きらり輝き観光振興大賞表彰式

・総 評

各地域で目指すべき観光振興の方向性について

日本商工会議所 観光・インバウンド専門委員会 委員長 志岐 隆史

・各賞贈呈

大 賞 大野商工会議所 会頭 森尾 義治 氏

優秀賞 大阪商工会議所 専務理事 近藤 博宣 氏

きらり特別賞 長野商工会議所 会頭 水野 雅義 氏

きらり特別賞 一宮商工会議所 常議員 渡邊 肇 氏

きらり特別賞 岡山商工会議所 常議員 千原 行喜 氏

・大賞受賞商工会議所による事例発表

大野商工会議所 専務理事 飯田 俊市郎 氏
相談所長 森田 雄大 氏



総評
日本商工会議所
観光・インバウンド専門委員会
委員長
志岐 隆史



事例発表
大野商工会議所
専務理事
飯田 俊市郎 氏



事例発表
大野商工会議所
相談所長
森田 雄大 氏



● 各開催都市による成果報告



旭川商工会議所 会頭
新谷 龍一郎



釧路商工会議所 会頭
栗林 定正



札幌商工会議所 会頭
安田 光春



登別商工会議所 会頭
木村 義恭

● 北海道アピール採択

日本商工会議所 観光・インバウンド専門委員会

共同委員長・気仙沼商工会議所 会頭 菅原 昭彦



日本商工会議所
観光・インバウンド専門委員会
共同委員長
菅原 昭彦

● 次回開催地挨拶

松本商工会議所 会頭 清水 是昭 氏

● 閉会挨拶

日本商工会議所 副会頭・観光委員長

福岡商工会議所 会頭 谷川 浩道



閉会挨拶
福岡商工会議所
会頭
谷川 浩道



< 次回開催地挨拶 松本商工会議所 会頭 清水 是昭 氏 >

< 閉会后、2027年国際園芸博覧会
(GREEN×EXPO2027)PRを実施 >





【ピアノ 鳥谷部美帆氏、フルート 南加奈子氏による演奏】

◆ 記念講演 旭川会場

6月3日(水) 11:15～12:15

旭川会場では、タレントで演劇ユニット「TEAM NACS」のリーダー森崎博之氏が登壇し、北海道の食や農業の魅力を伝えるとともに、ユーモアと深い北海道愛を交えながら「食を通じた地域の価値」を伝えることの重要性を語った。

講演では、地域への誇りや愛着を育むことの重要性を強調し、「何もない」という地域に対する否定的な言葉が子どもたちの郷土愛に影響を与える可能性がある」と指摘した。また、牛の一生や食料生産の現場を紹介し、命をいただくことへの感謝や食品ロス削減の大切さを訴えた。

さらに、日本の食料自給率の低下や世界的な食料問題に触れ、食料安全保障の観点から農業の重要性を説明。農業を「かっこいい」「稼げる」産業として捉え、次世代へ豊かな農業と食文化を継承していく必要性を呼びかけた。

「生きることは食べること」

森崎 博之 氏

(株)クリエイティブオフィスキュー タレント





【アイヌ古式舞踊「サロルン リムセ(鶴の舞)」】

記念講演 釧路会場

6月3日(水) 11:15～12:15

釧路会場では、鶴雅ホールディングス(株)代表取締役会長の大西雅之氏が登壇し、事業承継を機に「宿づくりは作品づくり」という理念を改めて示し、地域と宿が一体となって価値を高める「共動力」の重要性を講演した。

コロナ禍は観光産業の在り方を大きく変えた一方、今後はインバウンド需要の拡大により観光が日本の成長産業となる可能性を強調し、新たな価値創造と持続可能な観光への転換が必要と述べた。

また、北海道は豊かな自然や食に加え、縄文・アイヌ文化など1万5千年に及ぶ歴史・文化という強みを十分に活かし切れていないと指摘し、地域資源を磨き上げることの重要性を訴えた。

さらに、阿寒湖温泉で進めるナイトウォーク、マリモ再生、ワーケーション、アドベンチャーツーリズム、人材育成などの取り組みを紹介し、地域全体が連携して滞在型・高付加価値観光を推進することで、世界に選ばれる国際リゾートを目指す考えを示した。

最後に、観光産業の未来に自信と希望を持ち、地域が一丸となって次世代へ魅力ある観光地づくりを進めていくことの必要性を呼びかけた。

『観光の未来図』～日本と北海道の近未来観光～

大西 雅之 氏

鶴雅ホールディングス(株) 代表取締役会長





【弦楽四重奏 クアルテット・ポッポ】

◆ 記念講演 札幌会場

6月3日(水) 11:15～12:15

札幌会場では、(株)クリエイティブオフィスキュー代表取締役の伊藤亜由美氏が登壇し、自身が手掛けた映画やテレビ番組の企画立案の背景や地域への想いを交えながら、地域資源を活かしたコンテンツや人づくりについて講演した。

東京進出を機に、北海道でしか生み出せない価値を発信したいとの思いから北海道の豊かな農産物や食文化の魅力を再認識し、それらを題材とした企画を立ち上げた経緯を紹介。また、北海道産小麦100%のパンの開発や、北海道のワイナリーを題材とした映画制作など、地域への想いを形にしてきた挑戦についても語った。さらに、地域の魅力を伝えるためにはコンテンツそのものだけでなく、それをプロデュースし、ストーリーとして発信する人材の存在が重要であると強調。地域を愛し挑戦を続ける企業精神に、多くの参加者が深い感銘を受けた。

「ストーリーあるプロデュース
～北海道における人づくり、モノづくり、地域づくり～」

伊藤 亜由美 氏

(株)クリエイティブオフィスキュー
代表取締役・プロデューサー





【北海自衛太鼓】

記念講演 登別会場

6月3日(水) 11:15～12:25

登別会場では、俳優で民族共生象徴空間ウポポイ名誉アンバサダーを務める宇梶剛士氏が登壇し、自身の人生経験を振り返りながら困難や挫折に直面した際の考え方について講演した。

1962年、アイヌの母親のもと東京で生まれ、高校時代は甲子園を目指して野球に打ち込んだが、その後挫折を経験。少年院で読んだチャップリンの自伝に感銘を受け俳優を志した。更生や俳優としての再出発は、自身の努力だけでなく多くの人との出会いや支えによって実現できたものであり、感謝の心の重要性の他、困難を必要以上に悲観せず視点を変えて受け止めることの大切さを自身のエピソードを交えて語った。

最後に「転ばないこと」が重要なのではなく「転んだ後にどう立ち上がるか」が人生において最も大切。過去は変えられないが、未来は今の行動によって切り拓くことができるので前向きな姿勢で挑戦し続けてほしいとのメッセージを参加者に寄せた。

「転んだら、どう起きる？」

宇梶 剛士 氏

俳優

民族共生象徴空間ウポポイ名誉アンバサダー





◆ エクスカーション 旭川会場

参加者数／2コース36名

コース名		参加数
1	ラーメン×旭山動物園×デザインセンター:半日コース 旭川ラーメン村・デザインセンター・旭山動物園(旭川市)	22名
2	富良野 満喫の旅:半日コース ふらのワイン工場・カンパーナ六花亭・フラノマルシェ(以上、富良野市) ・四季彩の丘(美瑛町)	14名



エキスカーション 釧路会場

参加者数/5コース70名

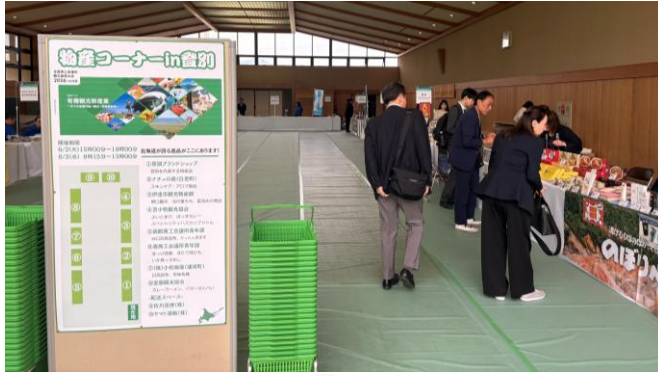
コース名		参加数
1	阿寒湖アイヌコタン丹頂鶴:半日コース 阿寒湖アイヌコタン 湖畔散策・釧路市丹頂鶴自然公園(釧路市)	13名
2	釧路グルメを一気食い:半日コース 泉屋本店・釧之助本店・釧路市丹頂鶴自然公園(釧路市)	15名
3	十勝ワイン&帯広グルメ:半日コース いけだワイン城(池田町)・道の駅おとふけ(音更町)・北の屋台(帯広市)	12名
4	納沙布岬・野付半島・開陽台:1泊2日コース 1日目:道の駅厚岸グルメパーク(厚岸町)・コープはまなか・霧多布湿原センター(浜中町)・納沙布岬(根室市):根室泊 2日目:野付半島ネイチャーセンター(標津町)・開陽台(中標津町)	20名
5	ゴルフ(6/4プレー)釧路カントリークラブ	10名

コース名		参加数
1	そらち(空知)地方の「ワインと日本酒」:半日コース 町村農場ミルクガーデン(江別市)・宝水ワイナリー(岩見沢市)・小林酒造(栗山町)	11名
2	「ブラサトル」と行く札幌おもしろ歴史散歩:半日コース すすきの・狸小路・テレビ塔・時計台・北海道赤れんが庁舎(札幌市)	9名
3	ジンギスカン昼食&さっぽろ食産業:半日コース サッポロビール園・アイビック食品(株)GOKAN・きのとや白石本店(札幌市)	20名
4	エスコンフィールド満喫:半日コース エスコンフィールドHOKKAIDO(北広島市)	12名
5	エスコンフィールド&サッポロビール工場見学:半日コース サッポロビール北海道工場(恵庭市)・エスコンフィールドHOKKAIDO(北広島市)	17名
6	エスコンフィールド&ラピダス車窓見学:半日コースA エスコンフィールドHOKKAIDO(北広島市)・ラピダスIIM-1 ※車中で説明(千歳市)	17名
7	エスコンフィールド&ラピダス車窓見学:半日コースB ラピダスIIM-1 ※車中で説明(千歳市)・エスコンフィールドHOKKAIDO(北広島市)	17名
8	炭鉄港遺産×エスコンフィールド:1泊2日コース 1日目:夕張市石炭博物館(夕張市)・安田侃彫刻美術館(美瑛市):美瑛泊 2日目:宝水ワイナリー(岩見沢市)・北の錦記念館・小林酒造錦水庵(栗山町)	10名
9	小樽+岩内・余市 美酒と美術に酔いしれる三都物語 ～2024きらり輝き表彰優秀賞視察コース～:1泊2日コース 1日目:サーモンファクトリー(石狩市)・小樽港第3号ふ頭・小樽運河散策・似鳥美術館 (以上、小樽市)・岩内高原ホテル:(岩内泊) 2日目:荒井記念美術館・含翠園(以上、岩内町)・オチガビワイナリー・ニッカウヰスキー 余市蒸溜所(以上、余市町)	11名
10	ゴルフ(6/2プレー)札幌国際カントリークラブ島松コース	4名
11	ゴルフ(6/4プレー)札幌ゴルフ倶楽部輪厚コース	19名
12	ゴルフ(6/4プレー)小樽カントリークラブ新コース	8名
13	ゴルフ(6/4プレー)札幌国際カントリークラブ島松コース	16名

物産展 登別会場

6月2日(火) 15:00~18:30
6月3日(水) 8:15~13:00

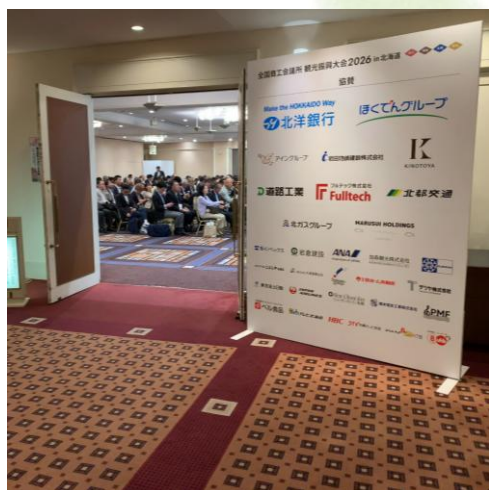
全国商工会議所
観光振興大会
2026 in北海道



エキスカーション 登別会場

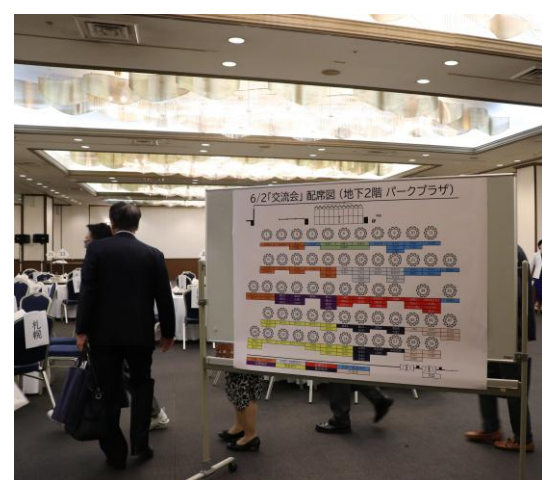
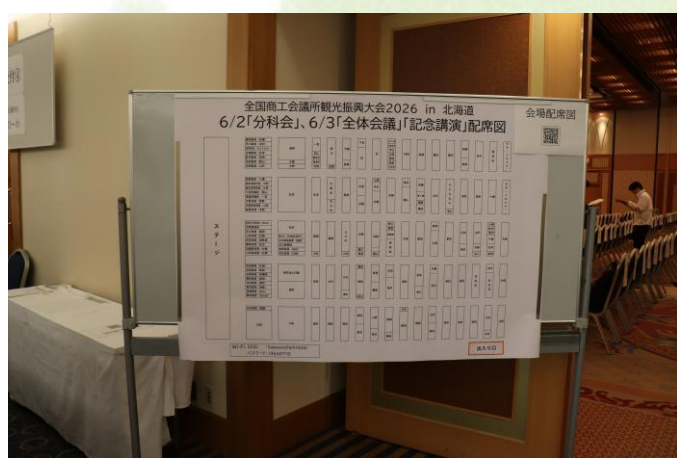
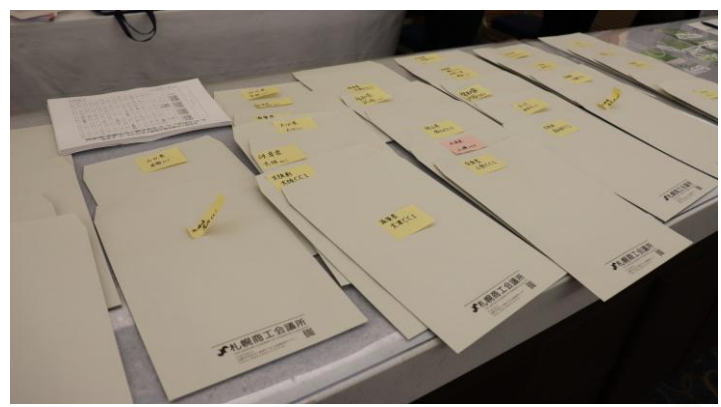
参加者数／6コース66名

コース名		参加数
1	ウポポイ(民族共生象徴空間):半日コース 民族共生象徴空間ウポポイ(白老町)	25名
2	ノーザンホースパーク:半日コース 虎杖浜 大漁番屋(白老町)・ノーザンホースパーク(苫小牧市)	7名
3	登別グルメ散歩 海鮮丼と地ビール:半日コース 昼食:雲丹まるひら・わかさいも本舗登別東店 地ビール飲み比べ(以上、登別市)	16名
4	ゴルフ(6/4プレー)桂ゴルフ倶楽部	3名
5	ゴルフ(6/4プレー)登別カントリー倶楽部	8名
6	ゴルフ(6/4プレー)北海道クラシックゴルフクラブ	7名



その他 釧路会場





その他 登別会場



●6/27(土) 北海道新聞朝刊

20260627 朝刊 (全面広告)

27 広告のページ

2026年(令和8年)6月27日(土曜日)

主編：日本商工会議所・(一社)北海道商工会議所連合会

全国商工会議所観光振興大会 2026 in北海道

6/2(火)・3(水)道内4エリアで開催しました

2026 in HOKKAIDO

北海道観光の新たな価値を 創造する2日間の軌跡

有機観光新産業 × 全ての事業活動 × 観光 × 新産業創造

旭川 旭川市観光局
旭川市観光局の取り組みについて、旭川市観光局長の講話が行われました。

釧路 釧路市観光局
釧路市観光局の取り組みについて、釧路市観光局長の講話が行われました。

札幌 札幌市観光局
札幌市観光局の取り組みについて、札幌市観光局長の講話が行われました。

登別 登別市観光局
登別市観光局の取り組みについて、登別市観光局長の講話が行われました。

記念講演

森崎 博之氏
「生きることは食べること」

大西 雅之氏
「観光の未来図」

伊藤 亜由美氏
「ストーリーあるプロデュース」

宇根 剛士氏
「旅んだら、どう起きる？」

私たちは北海道観光を
応援しています

Make the HOKKAIDO Way
北洋銀行

ほくてんグループ

アイングループ

岩田地崎建設株式会社

北ガスグループ

KINOTOYA

MARUSUI HOLDINGS

SAFFORO

道路工業

フルテック株式会社 Fulltech

北都交通

©北海道新聞社

(※北海道新聞より抜粋)

●6/3北海道新聞 道北版

20260603 道北 (上川・留萌・宗谷)

15 地域の問題

2026年(令和8年)6月3日(水曜日)

北 淮



滞在型観光に向けた取り組みなどを語る大雪カムイミントラDMOの
佐藤副理事長（左）、士別市の渡辺市長（中央）、旭川市旭山動物園
の坂東統括園長

観光通年誘客へ取り組み紹介

旭川で全国商工会議所大会
観光を通じた地域振興
策を学ぶ全国商工会議所
観光振興大会が2日、旭
川市内でも開かれた。旭
川や周辺の観光関連団体
が、集まった北海道内外
の商工会議所関係者を前
に、年間を通じた観光客
の集客方法などを解説し
た。

同大会は、日本商工会議所（東京）と北海道商工会議所連合会（札幌）の主催。旭川、札幌、釧路、登別の内4市に会場が設けられ、旭川には関東や九州などの商工会議所の職員ら約230人が集まった。

©北海道新聞社

市庁の職員は、川中町の大嘗会にミシタラD M O の佐藤孝雄理事長と、旭川市動物園事務局長坂東元統氏を招き、市立市の渡辺英次市長がそれぞれ取り組みを紹介。

佐藤理事長は、開闢期から対策として、地域の過剰や食糧を組み合わせて堪能になったり旅（観光）N G A S I - N の間に取組んでいるを説明。人があまらぬというのには、逆に観光がゆつくり過ぎてしまうこと。

この魅力にあるのではないかと意図を語った。大会は「日本」続く。

大谷

(山中悠介)

(※北海道新聞より抜粋)

●6/3北海道新聞 道東版

20260603 道東 (釧路・根室)

（年）6月3日（水曜日）

北海道新



大韓航空チャーター便就航
HAP社長 海外便増に意欲

2日、釧路市を含む道内4市で始まる全国商工会議所観光振興大会（日本商工会議所・北海道商工会議所連合会共催）。釧路の会場では体験型観光「アドベンチャートラベル（A・T）」の推進などをテーマに意見交換が行われ、この日発表された大規模観光チャーター便の釧路発着就航についても言及された。

釧路会場では県の約250人が参加した。分科会では観光振興と交通港から目的地的な交通の問題などをテーマに、

北海道エポータ・日阿千穂の山崎雅彦市長、釧路市出身の一人分科会として山崎氏は、約半世紀になる「船輪の釧路乗り入れ」をめぐり、

て、「観光にとって空海は欠陥。それだけインレタなど海外便を増やせば重要」と述べた。その後の取材に山崎社長は「チャーターの成熟期を増やし、定期便化したらと意欲を見せた。」

大会は4日まで、3日は札幌市リディングスグループの会長が講演する。

◎北海鴻新聞社

(※北海道新聞より抜粋)

●6/3北海道新聞

20260603 朝刊 (經濟)



札幌など4市で
稼ぐ観光を討論
全国商工会議所大会
全国商工会議所観光振
興大会が2日、札幌、旭
川、釧路、登別の4市で

商連の主催。毎年全国各地工務会連合会（道連）を訪問し、道内開催は、2006年の函館以来20年ぶり。今回は各地の魅力を知ってもらうと初めて分かって開いた。

札幌は観光コンテンツづくりに関する討論会を實施。地元のスイーツや仮想アイドル初音ミクの冬季版「雪ミク」といって来訪の動機をつくった3人が登壇した。ワ

た。計約1300人が参加する大会で、初日は連年型・滞在型観光や広域移動を支える交通手段など、4市ごとのテーマでパネル討論会を行った。

N T T ドコモ人事（7月1日）
 ◆関係分
 北海道支店長（シ）シムラヤ
 サハビスカパニニニケータイ
 グリベシヨシヨシ部部長 永
 井博（北海道支店長）ロク
 トマーケータイ本部（ロク
 路部長）部長 栗林早貴

「観光は新しい施設を作るのではなく、地域に既存にある価値をつなぎ合わせることで育てられる」と語った。

©北海道新聞社

●6/3北海道新聞 道央版

20260603 道央 (室蘭・胆振)

以来20年ぶり。豊別 札

観光振興 多様な視点から
登別で全国商工会議所大会



「山本は、日本に帰国してからは、山本五郎の遺族の代表として、山本五郎の功績を後世に伝える活動に力を入れている。山本五郎の功績を後世に伝える活動に力を入れている。山本五郎の功績を後世に伝える活動に力を入れている。」

◎北海道新聞社

(※北海道新聞より抜粋)

(※北海道新聞より抜粋)

●6/3釧路新聞社

●6/16釧路新聞社

北海道観光の魅力全国へ 全国商工会議所観光振興大会 道内4都市で初の分散開催



高田氏が講演したキーノート・スピーチ

『全国商工会議所観光振興大会2026 in北海道』が2日(火)・3日(水)に、初となる4都市(旭川・釧路・札幌・登別)の2日間わたりに開催された。今回は有

で開催し、釧路には全国から各地会議員ら250人が集った。初日は4会場をつないだキーノート・スピーチで開幕し、釧路からは鶴雅ホールディングス㈱の高田健右氏がアドベンチャー・トラベルの推進について講演。続く分科会では「モビリティ×観光」をテーマに、道東における二次交通の課題解決に向け議論が交わされた。交流会では、エソシカル肉や花咲ガニ、かしわぬきなど釧路および道東の特産品が振る舞われたほか、北海道くしろ郷東太数保存会が演奏を披露。当所会員の協力を得て制作・配布した『くしろ街歩き』とエリアナイト



交流会であいさつする栗林会頭

集めた物産展も同時開催し盛況を博した。午後からは食、観光など多彩なコースで構成されたエキスコースも催され、参加者にひがし北海道の魅力を存分に体感してもらい地域観光の振興に向け実り多き大会となった。

(※釧路新聞社より抜粋)

国際チャーター便就航 7年ぶり、ソウル—釧路線 全商観光大会

北海道商工会議所連合会(安田光春会頭)と日本商工会議所(小林健会頭)の共催による「全国商工会議所観光振興大会2026 in北海道」が2日、道内4都市で始まった。釧路会場で行われた分科会で、パネリストとして登壇した北海道エアポート(HAP)・千歳の山崎雅生社長は、7年ぶりとなる大韓航空

によるソウル(仁川)—釧路線の国際チャーター便が7月に就航すること、を明らかにした。同大会は、全国の商工会議所関係者が地域を越えて交流を深めるとともに、観光を通じた地域振興などを学ぶ目的で開催。21回目となる今回は「有機観光新産業」をテーマに、釧路



路、札幌、旭川、登別の4都市で同時開催されている。釧路会場には全国の会議員ら約250人が参加。分科会には山崎社長のほか、ひがし北海道自然美への道DMOの阿部誠事務局長、知床むら観光連盟の佐々木亮介事務局長らがパネリストとして登壇。地域観光への取り組みや2次交通の課題などについて討論した。山崎社長は「東アジアのインバウンド(訪日

需要が大きく、特にゴルフは人気で、ニトリレディスゴルフが行われることも大きい」とし、「今後も国際チャーター便の誘致に力を入れる」と語った。鶴間秀典釧路市長は「当地域におけるインバウンド観光の本格的な回復をけん引する重要な一歩。宿泊、飲食、小売りなど幅広い分野へ大きな経済波及効果をもたらすものと期待している」とコメントした。運航は6往復10便で、運航日は7月15、18、22、25、29日、8月1日、韓国への販売。

(※釧路新聞社より抜粋)

●6/5道北日報社



全国の商工会議所会員に「合宿の里」の内容を発信する渡辺市長

「有機観光新産業」
全ての事業活動×観光
「新産業創造」を大
会テーマにした全国商
工会議所観光振興大会
2026 in北海道
が、6月2日から同4
日まで道内4カ所で行
われ、旭川会場では渡
辺士別市長がパネリス
トとして、士別におけ
る合宿の里を紹介して
いた。

この大会は地域振興
の活性化をはかるため
に観光を地域経済の柱
として育てていくこと
というのが目的。

さらに全国の商工会
議所が事例のノウハウ
を共有し、連携を深め
ようというもので、全
国各地から約2千人の
商工会議所関係者が来
道し、旭川市、釧路市、
札幌市、登別市の4会
場に分かれ、それぞれ

「人と人とのつながりが大切」 「合宿の里」の活動を全国に紹介

全国商工会議所観光振興大会
2026 in北海道旭川会場
渡辺士別市長

のテーマにそって滞在
型の観光を目指す事例
を発表していた。

旭川会場には400
人が参加。テーマは
「アクティブティ×観
光×通年型・滞在型観
光を目指して」で、
渡辺市長と旭山動物園
統括園長の板東元氏、
大雪カムイミントラド
MO副理事長ら2人が
パネラーとなってい
た。

渡辺市長は「軌跡が
交差する、合宿の整
地」をテーマに、半世
紀にわたるサフオーク

運動の取り組みを説明
した後、冬期間の自動
車における耐寒試験の
メッカ、合宿の里の取
り組みを紹介してい
た。

合宿の関連ではオリ
ンピックに出場した長
命な選手の合宿や施設
などとともに官民連携
による受け入れ体制な
どを紹介。年間2万
人が訪れており、合宿
の里でも人と人とのつ
ながりが大切」と結び、
参加者の関心を集めて
いた。

(北村浩史)

(※道北日報社より抜粋)

●その他

放送日		メディア
1	6/3	TVh 5時ナビ
2	6/24	HBC もんすけインフォメーション
3	7/8	STV Mylist

2024(令和6)年	7月	開催協議を開始
	8月～10月	岩田会頭(当時):札幌一極集中は避け、地方に恩恵が行き渡る方法を。 木村委員長(食と観光振興委員長、登別会頭) :コロナで傷ついた北海道のために、準備期間は短いが是非、開催を。 全道意向調査の実施:全ての会議所から開催承諾の回答を得た。
	11月	11/1 日商:観光・インバウンド専門委員会で北海道開催が決定
	12月	北海道に広く開催効果を波及させるため、14か所を開催候補地として提案し、日商と具体協議を開始

2025(令和7)年	1月末	日商と具体協議を継続 1/28・29 長崎大会で2026北海道開催を PR
	2月～3月	日商と協議の結果、開催地を4ブロック、4会場に決定 (道北 旭川、道東 釧路、道央 札幌、道南 登別) 3/10 日商:観光・インバウンド専門委員会で「4開催地」ほか準備状況報告 2/28～3/26 道内42商工会議所に「大会テーマ・講師等」のアンケートを実施
	4月～11月	開催概要(案)の作成作業 6/13 日商:観光・インバウンド専門委員会で準備状況報告 各会場下見(現地商工会議所との打合せ):6/3 登別、7/2 釧路、7/8旭川 7/15 日商と打合せ(オンライン) 10月 木村委員長(登別会頭)とテーマ(案)等の絞り込み 10/22 日商:観光・インバウンド専門委員会でテーマ(案)等を報告・決定 11月 講師・パネリスト・ファシリテーター・司会への依頼開始(計27名)
	12月	エキスカーション企画の作成作業 開催地との打合せ:12/9 旭川、12/15 札幌、12/22 登別、12/25 釧路

2026(令和8)年	1月	4ブロック商工会議所との打合せ:1/14 道央、1/15 道東、道北、1/20 道南 1/30 登別・室蘭・伊達との打合せ
	2月～5月	2月 エキスカーション:案内コース・料金等の決定(52コース) 2/26 大会ホームページ公開(参加申込受付開始 → 3/31締切) 3/6 日商:観光・インバウンド専門委員会で準備状況説明 3月 4ブロック商工会議所との打合せ:3/17 道東、道央、道北、3/18 道南 道内42商工会議所にプログラム広告協賛等の依頼 3/23・24 & 5/13・14 日商が札幌会場を下見 4月 4ブロック商工会議所との打合せ:4/24 道東、4/27 道北、道央、4/28 道南 特別協賛のご依頼、エキスカーション催行コースの決定(26コース) 5月 4ブロック商工会議所との打合せ:5/20 道央、5/21 道北、5/25 道南、5/26 道東
	6月	6/2・3 開催(一部エキスカーションは6/4まで) 大会参加者1,288名、エキスカーション参加者26コース343名